

地理歴史科（歴史総合）学習指導案

1 単元名 第一次世界大戦と大衆社会

この単元は、「2 内容」の「C 国際秩序の変化や大衆化と私たち」の「(2) 第一次世界大戦と大衆社会」に該当する。

2 単元目標

- (1) 総力戦体制の影響による社会の変化について考察し、表現する。
- (2) 大衆が政治的・文化的・社会的な主体となって活動したことを理解する。
- (3) 第一次世界大戦後に植民地で活発化した民族運動について考察し、表現する。
- (4) 第一次世界大戦後の社会の変化について主体的に追究する。

3 単元計画（全体9時間）

(1) 指導計画

・第一次世界大戦とロシア革命	3時間（本時1/9、2/9）
・国際平和と安全保障	1時間
・アジア・アフリカ地域の民族運動	2時間
・大衆消費社会と市民生活の変容	1時間
・社会・労働運動の進展と大衆の政治参加	1時間
・単元のまとめ	1時間

(2) 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・大衆が政治的・文化的・社会的な主体となって活動したことを理解している。	・総力戦体制の影響による社会の変化を考察し、表現している。 ・第一次世界大戦後に植民地で活発化した民族運動について考察し、表現している。	・第一次世界大戦後の社会の変化について主体的に追究している。

(3) 指導内容及び評価計画

(○…「評定に用いる評価」、●…「学習改善につなげる評価」)

次	学習内容	ねらい・学習活動	評価の観点			(B)具体的な評価規準 (C)具体的支援	評価方法
			知	思	態		
第1次 (3)	【学習課題】<単元を貫く問い> 「第一次世界大戦がもたらした光と影は何か」 【学習課題1】「従来の戦争と第一次世界大戦の総力戦にはどのような違いがあったのか」 【学習課題2】「ロシア革命が国際社会に与えた影響とは」 ・第一次世界大戦 第一次世界大戦の戦前・戦中・戦後の変容について、視点を5分野に分担して考察することにより、今後の学習の視点を獲得する。	○ ●			【思】 (4) ア参照 【主】 (B) 第一次世界大戦の戦前・戦中・戦後の変容について、仲間と協働して探ろうとしている。	・Google スプレッドシートの記述内容を基に評価する。	
第2次 (1)	【学習課題3】「国際平和・国際協調では何を目指したか」 ・国際平和と安全保障 【ねらい】各国の思惑と、国際平和・国際協調の成果と限界について考察する。	●			【知】 (B)各国の思惑と国際平和・国際協調の成果について表現している。	・Google フォーラムの記述内容を基に評価する。	
第3次 (2)	【学習課題4】「なぜ民族運動が起こったか」 ・アジア・アフリカの民族運動 【ねらい】植民地化の経緯と独立への要因について、各地の共通点と相違点を理解する。		●	●	【思】 (B)各地の共通点と相違点を表現している。	・Google フォーラムの記述内容を基に評価する。	

第4次 (1)	【学習課題5】「大衆・民衆・市民・消費とは何か」 ・大衆消費社会と市民生活の変容	【ねらい】第一次世界大戦後において顕著となった社会の変容を構造的に理解し、その要因を考察する。	●		【知】 (B) 第一次世界大戦後の人々の生活変容を理解している。	・Google フォームの記述内容を基に評価する。
第5次 (1)	【学習課題6】「民衆運動のエネルギー源は何か」 ・社会・労働運動の進展と大衆の政治参加	【ねらい】日本の第一次世界大戦後における社会構造の変容を、多様な視点から考察する。	●		【知】 (B) 人々の動きと動機を多様な視点(職業・性別・地域・社会的身分など)から理解している。	・Google フォームの記述内容を基に評価する。
第6次 (1)	【学習課題】<単元を貫く問い> 「第一次世界大戦がもたらした光と影は何か」 ・単元を貫く問いのまとめ			○	【思】 (4) イ参照	・Google スプレッドシートの記述内容を基に評価する。

(4) 評価規準

ア Google スプレッドシート(ワークシート1)の評価規準【思考・判断・表現】

割り当てられた視点(「国際関係」「工業」「兵士」「女性」「植民地」のいずれか)から資料を読み取り、第一次世界大戦の戦前・戦中・戦後の変容を考察し、表現する。

判断基準

「おおむね満足できる」状況(B)と判断される例
・割り当てられた視点から、変容について説明することができている。
「十分満足できる」状況(A)と判断される例
・割り当てられた視点から、変容をその理由とともに説明することができている。
「努力を要する」状況(C)と判断される例とその生徒への支援
・変容について説明することができない。→同じ視点のグループの解答を共有し、第一次世界大戦の戦前・戦中・戦後の状況を時期ごとに書き出せるよう支援する。

イ Google スプレッドシート(ワークシート3)の評価規準【思考・判断・表現】

第一次世界大戦によって世界がどのように変容したかを光と影に分けて考察し、表現する。

判断基準

「おおむね満足できる」状況(B)と判断される例
・変容を光と影に分けて考え、具体例をそれぞれ一つ示しながら説明することができている。
「十分満足できる」状況(A)と判断される例
・変容を光と影に分けて考え、具体例を複数示しながら説明することができている。
「努力を要する」状況(C)と判断される例とその生徒への支援
・変容を光と影に分けて説明することができない。→解答を共有し、変容を説明できるように支援する。

4 本時の指導と評価の計画

(1) 本時の目標

ア 第一次世界大戦について、長期化の理由と総力戦の意味することを資料から読み取り、考察する。

イ ICTを活用し、第一次世界大戦についての資料から読み取ったことを共有し、グループワークを通じて考えを深める。

(2) 本時の展開(2時間分)

(○…「評定に用いる評価」、●…「学習改善につなげる評価」)

	学習内容	学習活動	指導上の留意点・評価
導入	・問いの共有と検討 ・班分け	・各自が立てた問いが検証可能かどうかを検討する。 ・班に分かれ、担当分野を確認する。	・自他の「問い」の多様性・相違点・共通点に気付かせる。

展開1	・資料の読み取り	・塹壕戦、新兵器の発明、産業構造の高度化によって戦争が長期化したことを教科書や資料集で確認する。 ・初の「総力戦」であったことを確認する。	・「総力戦」とは具体的にどうい う戦争のことなのかという疑問をもたせる。
展開2	・分野の割り当て ・資料の読み取り	・担当分野の視点から第一次世界大戦の関連資料を探す。 ・戦前・戦中・戦後でどのような変容が見られたかを考え、Google スプレッドシートに書き込む。	・他班の考えたことを共有させ、自ら考えたことを深めさせる。
展開3	・発表	・Google スプレッドシートを基に発表する。	・各班へのコメントをスプレッドシートに書き込ませる。
まとめ	・学習課題	・「総力戦とは何か」を自分なりに定義する。	・スプレッドシートの記述内容 ○【思考・判断・表現】

(3) 本時の評価規準

3 (4) ア 参照

5 成果と課題

(1) 成果

Google スプレッドシートを活用して各班が考えたことを共有できるようにしたため、各班が提示した各分野の視点を組み合わせて学びを深めている様子を見取ることができた。ICT機器の「情報を即時共有できる」というメリットがよく生きる事例であり、いわゆるジグソー法を成功させる有効な手段だと言える。また発表に際して、Google スプレッドシートに書き込んだ内容をどのように説明すれば他班に伝わるかを、班のメンバー全員で試行錯誤しながら発表原稿をつくっていた。生徒はいわゆる協働的な学びの有効性に気付いたのではないかと考えている。

単元の終わりに、生徒は単元を貫く問い「第一次世界大戦がもたらした光と影は何か」に対してGoogle フォームで回答した。ほとんどの生徒が、具体的な例を示しながら説明することができていたので、他者に対して根拠をもって説明するための言語表現力を身に付けるという研究の目標を達成できたと考えている。

(2) 課題

Google フォームでの回答回収は、上述の通り、授業中の即時的な共有にはよいが、回答を生徒個人の学習の記録として残すことには向いていない。生徒一人一人の学びの軌跡を追うためには、生徒が一枚のワークシートに継続的に記入する方法が、個人の変容を見取りやすいと考える。今後は、生徒が自らの考えを表現する場面では、フォームを活用して意見などを集める方法（多くの考えを集め、共有できるようにすることで学びを深める）と、一枚のシートに記録を残していく方法（紙媒体を含む。生徒の変容を見取るために記録をとり、学習の軌跡を残す）、どちらの手段を活用する方がよい場面かを見極め、それぞれのメリットを生かして適切に使分けたい。